

## 熱損失改善による1年間当たりの効果額

			測定箇所	
	項目		単位	
				8
計算条件	A	測定時の気温	°C	15
	B	配管呼び径	A	50
	C	配管直径	m	0.0605
	D	配管長さ	m	5
	E	年間稼働時間	Hr/Y	8,000
	F	熱量価格	円/(KW・Hr)	5
改善前の状態	G	現在の保温厚さ	m	0.000
	H	保温後の外径	m	0.0605
	K	保温後の面積	m <sup>2</sup> /m	0.1901
	L	表面温度	°C	130
	M	表面熱伝達率	W/(m <sup>2</sup> ・k)	25
	N	放散熱量	W/m	546
改善後の状態	h	改善後の保温厚さ	m	0.050
	j	改善後の外径	m	0.1605
	k	改善後の面積	m <sup>2</sup> /m	0.5042
	l	計算上(改善後)の表面温度	°C	22
	m	表面熱伝達率	W/(m <sup>2</sup> ・k)	12
	n	改善後の放散熱量	W/m	42
効果	P	年間損失熱量	KW/Y	20,163
	Q	1年間の効果額	円/年	100,817